

特集1 令和6年度 当初予算

一般会計予算は約335億円

令和6年度当初予算が3月議会で可決され、決定しました。
一般会計予算の総額は335億2000万円で、前年度当初予算と比べて32億5000万円の増となりました。

福祉や教育、産業振興など、市の基本的な会計

一般会計 **335億2000万円**
(対前年度当初予算比 +32億5000万円)

国民健康保険、介護保険など一般会計と区別が必要な会計

特別会計 **122億5100万円**
(対前年度当初予算比 △4300万円)

水道、病院など料金収入で運営している事業の会計

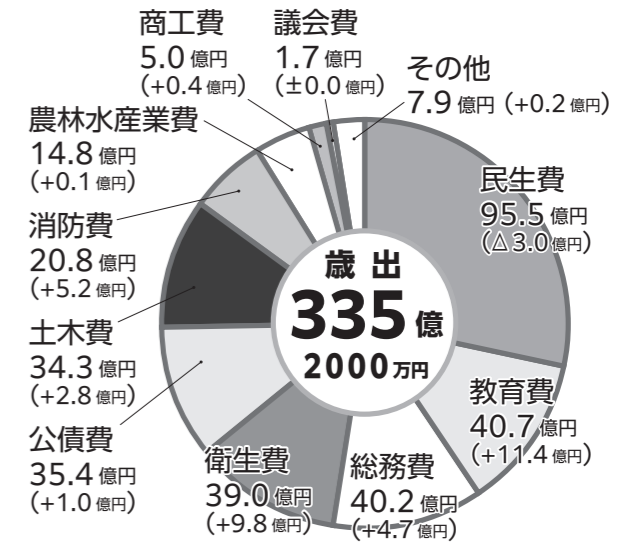
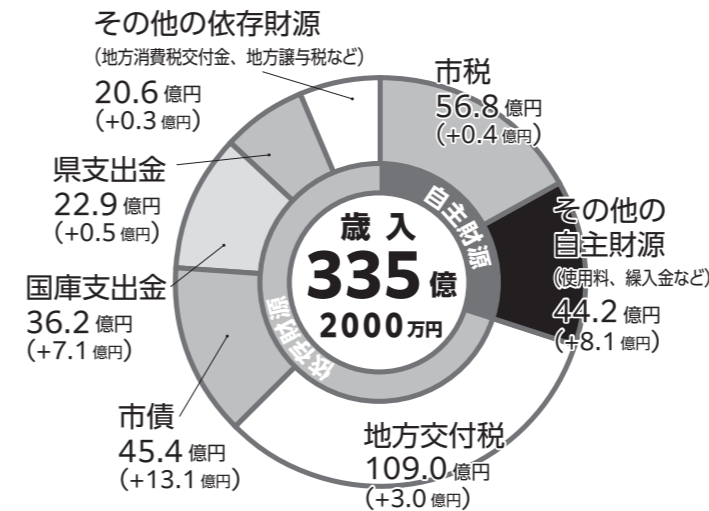
事業会計 **139億5363万円**
(対前年度当初予算比 +3億2021万円)

図 財政課 ☎ (25) 8111

一般会計予算の概要

※おことわり…金額は1千万円未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。

※ () 内の金額は、前年度当初予算比



- 市税…市が徴収するお金
- 地方交付税…全国の市町村でも一定の行政サービスを提供できるように国が地方公共団体に交付するお金
- 市債…市の借金
- 国庫支出金…国からの補助金等
- 県支出金…県からの補助金等
- 自主財源…市税、使用料など市が徴収できるお金 (+8.4億円)
- 依存財源…補助金や交付金など国や県などに依存するお金 (+24.1億円)

- 民生費…福祉や医療のための経費
- 教育費…学校や生涯学習のための経費
- 総務費…市政運営のための経費
- 衛生費…健康や環境のための経費
- 公債費…借金返済に必要な経費
- 土木費…道路、河川、市営住宅などの経費
- 消防費…安全・安心な暮らしのための経費
- 農林水産業費…農林水産業振興のための経費
- 商工費…商工や観光振興のための経費
- 議会費…議会の運営のための経費

一般会計 市民一人当たりの予算 **738,668円** (前年度 658,454円) 令和6年3月末現在の人口 (45,379人) で計算

○高齢者や児童の福祉などに	210,347円	○消防・救急活動などに	45,869円
○学校・図書館・公民館などに	89,750円	○農林水産業振興などに	32,535円
○行政運営費に	88,661円	○商工・観光振興などに	10,942円
○ごみ処理や病気の予防に	85,891円	○議会の運営に	3,637円
○借金返済に	78,119円	○その他	17,375円
○道路・河川などの整備に	75,542円		

POINT 子育て環境の 充実・支援

新たに、物価高騰に伴う子育て世帯の経済的負担軽減および見守り体制の強化を図るため、満1歳までの乳児を養育する保護者を対象におむつ等を支給します。

【主な事業】
○乳児おむつ等支給事業

令和6年度は、依然継続する原油価格・物価高騰等を考慮しつつ、第2次高島市総合計画 後期基本計画のまちづくり方針である『住みたい、住み続けたいまちの実現』のため、これまで実施してきた事業を継続しながら、最優先の課題である新ごみ処理施設の整備が令和11年度の焼却施設本稼働に向けて動き出すこととなります。



POINT 住みたい、住み続けた い「高島」の実現へ

令和6年度は、依然継続する原油価格・物価高騰等を考慮しつつ、第2次高島市総合計画 後期基本計画のまちづくり方針である『住みたい、住み続けたいまちの実現』のため、これまで実施してきた事業を継続しながら、最優先の課題である新ごみ処理施設の整備が令和11年度の焼却施設本稼働に向けて動き出すこととなります。

POINT ふるさと納税は6億円 を目標

ふるさと納税による寄付金は6億円を見込んでおり、子育て支援や元気に安心して暮らせるまちづくり、魅力ある地域づくりなどに活用しています。いただいたふるさと納税の主な使い道は次のとおりです。

【主な使道】
○妊婦健康診査の費用を全額助成
○保育料の完全無償化

POINT 市制20周年記念事業を 展開

平成17年1月1日に高島市が発足してから20年の節目を迎える年度となります。
令和6年度を市制20周年記念事業の実施期間と位置づけ、市主催事業のほか、市民団体等と連携しながら、各種記念事業を実施します。

【主な事業】
○市制20周年記念事業
○近江今津駅リニューアル事業
○高島市スポーツ大会開催事業

POINT 地方債を活用し 社会インフラを整備

合併特例事業債の発行期限が令和6年度で最終年度を迎えること、防災・減災事業債等が令和7年度に迫っていることから、省エネ・再エネ、脱炭素を考慮した福祉施設や観光施設、教育施設などの長寿命化工事、防災・減災に向けて予防保全を目的とした橋梁・道路・河川等の改修工事の実施や消雪施設の整備など、将来にわたって使用する施設の整備を進めます。

【主な地方債充当事業】
○公共施設改修事業
○学校施設改修事業
○防災行政無線整備事業
○消雪設備整備事業

特別会計・事業会計の内訳

特別会計	区分	当初予算	前年度比較
	国民健康保険特別会計	54億4900万円	△1億3700万円
後期高齢者医療事業特別会計	7億9200万円	+6900万円	
介護保険事業特別会計	60億1000万円	+1億3300万円	

事業会計	区分	当初予算	前年度比較
	水道事業会計	18億5329万円	+6495万円
下水道事業会計	43億9076万円	△3219万円	
病院事業会計	77億958万円	+8億6972万円	



高島の魅力を生かす6つの政策

主な事業をご紹介します。 図 財政課 ☎ (25) 8111

1 「かもす」産業・経済

高島の魅力を国内・海外に発信 2084万円

本市の特産品の海外販路の可能性を探り、地域産業の活性化と販路拡大に伴う雇用創出につなげるため、広告活動や催事販売、商談会等を行います。

また、コロナ禍を経て、改めて健康意識やサステナブルな暮らしへの志向が高まる中、発酵食文化をまちのブランドとして発信するために「たかしま発酵のまちづくり構想」を策定します。

- 継続** 特産品海外販売戦略事業
- 継続** インバウンド誘客促進事業
- 新規** たかしま発酵のまちづくり構想策定事業

企業活動と人材確保の支援 7822万円

市内企業の設備投資や雇用の増進を支援することで、地域産業の振興、経営基盤の強化と競争力の維持向上を図ります。

また、生産人口が減少する中、市内での新規創業を促進し地域経済の活性化と雇用の増加を図ります。

- 継続** 企業活動支援事業
- 継続** 地域雇用活性化推進事業
- 継続** 創業支援事業

2 「あゆむ」子育て・教育

乳児おむつ等支給事業 1305万円

子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て家庭の見守りを実施することを目的に、各家庭に宅配によっておむつ等を支給します。

ICT教育機器整備事業 1億6873万円

児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備し、国が提唱するGIGAスクール構想に即したICT環境となる中、デジタル教材等を活用した授業改善を通して、個別最適な学びや協働的な学びのさらなる充実を図ります。

3 「つむぐ」健康・福祉

地域共生社会推進事業 2206万円

地域共生社会の実現に向けて、身近な圏域を基盤とした包括的相談支援体制の充実を図るとともに、住民の主体的活動を支援する施策の検討や専門職による支援を行います。

また、判断能力が不十分で財産管理や日常生活に支障のある方の権利擁護支援に取り組みます。



スポーツの振興 4億3132万円

令和7年度に開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた準備を進め、本大会前年となる令和6年度はリハール大会を開催します。

また、利用者が社会体育施設を快適に使用できるよう、計画的に施設の修繕や改修を行います。

- 継続** 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備事業
- 継続** 社会体育施設維持補修事業

4 「せせらく」暮らし・文化

新ごみ処理施設整備事業 2億928万円

将来にわたり安定的かつ効率的な一般廃棄物の処理体制を確立するため、新たなごみ処理施設を整備します。令和11年度の焼却施設本稼働を目標とし、年次計画に基づき業務を実施します。令和5年度から引き続き生活環境影響調査を実施し、令和6年度から造成設計や地質調査等を実施します。

災害に強い体制づくり 10億1060万円

自主防災組織の育成・強化による地域防災力の向上を図ります。

また、引き続き次期防災行政無線システムや災害に備えた防災資機材・消防施設の整備を進めるとともに、防災情報システムを導入するなど防災体制の充実・強化を図ります。

- 継続** 防災資機材等整備事業
- 継続** 防災行政無線整備事業
- 継続** 消防施設整備事業

5 「ささえる」生活基盤

公共交通対策事業 3億915万円

路線バス等の運行を維持するため、運行事業者に対する補助と利用促進および利用者負担を軽減する事業を行います。

また、公共交通として市営バスを運行し、地域住民の移動手段の確保を図ります。

- 継続** 公共交通対策事業
- 継続** 市営バス運行事業

くらしを支える道路を整備 5億8393万円

市道の道路改良を行うことによって、利便性の向上と歩行者等の安全な通行を確保します。

- 継続** 道路新設改良事業



6 「こころぞす」行政経営

びわ湖高島えんむすび事業 3億2582万円

ふるさと納税「びわ湖高島えんむすび」事業について、広告出稿やポータルサイトへの登録、各種PRイベントへの参加等によって本市の魅力を発信し、寄附額の増加と併せて市内特産品の販売促進を図ります。

近江今津駅リニューアル事業 7231万円

令和6年3月に北陸新幹線が敦賀駅まで延伸、7月には湖西線開業50周年、そして令和7年1月に市制20周年を迎えることから、これを契機に市内唯一の特急停車駅であるJR近江今津駅のリニューアルを行い、イメージアップと鉄道利用客の誘客を促進します。